

特集⑨ 人が動かす山九のビジネス

世界で広がる グリーン機会に挑む

～ 低炭素燃料原料製造プラント改造工事～

世界でカーボンニュートラルに向けた動きが進む中、陸運および航空業界の切り札として注目される低炭素燃料の一つ、持続可能な航空燃料SAF。そんなSAF原料製造に力を入れるShell Eastern PetroleumグループのEcoOils社。その協力会社として選ばれた山九マレーシアは、ともに脱炭素社会への貢献を目指しています。今回はその取り組みについてご紹介します。

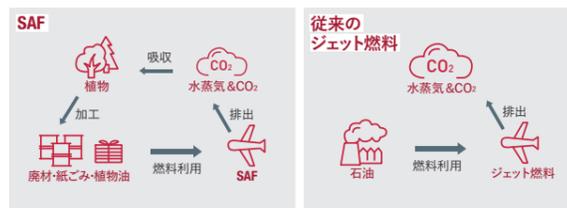


EcoOils社について

廃油に新たな価値を EcoOils社が取り組む低炭素燃料原料製造

航空業界は脱炭素化が最も難しい業界の一つとして大きな課題を抱えています。航空機は、輸送量に対する温室効果ガス排出量が他の輸送手段に比べて多く、環境負荷が高いと言われています。課題解決に向けて脱炭素化への国際的な動きは活発で、日本でも国際線への給油燃料の1割をSAFに置き換えることが義務化される2030年に向け、重要な切り札として

SAF (持続可能な航空燃料) とは?



期待されるSAFを含む低炭素燃料の原料を製造するEcoOils社の技術は、大きく注目されています。

EcoOils社は、マレーシアとインドネシアで40年以上の歴史を持つ廃油メーカー。最先端のリサイクル技術によって、パーム油の廃棄物からSBEO (使用済み漂白土油) を生成し、それをSAFを含む低炭素燃料の原料に転換する事業を行っています。

山九マレーシアの支援内容

持続可能なエネルギーを生み出すプラントを 土台から支える山九マレーシア

山九マレーシアは、EcoOils社が保有するプラントの更新・改造工事の支援を行っています。プラントの更新や改造は、プラントを新たに建設するプロジェクトと比較すると、難易度が高くなります。山九マレーシアは高い安全管理基準を持ち、お客様の要望に応えることで、評価をいただいています。持続可能なエネルギーを生み出すプラントの安定的な運営・供給を支えることで、環境問題に貢献しています。

お客様からの信頼を追求する Shell社とのパートナーシップ

築き上げた信頼によって受注したEcoOils社案件。
安心・安全のパートナーとして、持続可能な低炭素燃料原料製造プラントの更新・改造工事に取り組んでいます。
ここでは、EcoOils社の親会社であるShell社に、山九マレーシアとの協働の実態についてお聞きしました。



Q Shell社とEcoOils社との関わりは?

A 新たなエネルギーソリューションの提供を目指し連携しています。

2022年11月、EcoOils社はShellグループに入りました。私たちShellは、グローバルなエネルギー企業として地位を築いてきました。多岐にわたる事業を展開しつつ、持続可能な航空燃料への投資と生産にも力を入れています。現在、Shellグループのバイオ燃料施設と互換性のある高品質な原料を供給するEcoOils社とともに、新たなエネルギーソリューションを提供するという目標に向かって取り組んでいます。

EcoOils社がグループ入りした後に、より安全で効率的なプラント運営を行うために改修工事を行いました。ShellグループのHSE (健康・安全・環境) 基準を導入したものの、このグローバルレベルの厳格な基準を既存サプライヤーが守ることが難しく、困っていました。そこで、これまでの取引で信頼を寄せていた山九マレーシアにEcoOils社のプラント更新・改造工事を依頼することになったのです。

Q 山九マレーシアへの信頼とは?

A 山九マレーシアの何事も妥協しない姿勢を信頼しています。

常に顧客目線を持ち、ともに問題を解決しようと働いてくれる山九マレーシアの安心・安全な仕事には信頼を寄せています。私たちが山九マレーシアに心から信頼を寄せるポイントの一つ目は、やはり安全への意識の高さです。パートナーとして働く中で、

山九マレーシアの安全基準の遂行が厳格なことを実感しています。また、両チームが安全を最優先に取り組む姿勢に、互いに影響を受け、良い循環が生まれています。二つ目は、スピード感のある対応によるスケジュールの厳守です。プロジェクトを期日通りに進行することは安全性にも関わっています。また、プラントが稼働していない期間を極力短くすることで、コスト削減にもつながります。常に的確で効率的なソリューションを提供して下さることをありがたく思っています。

Q 今後の期待を教えてください

A パートナーとして一緒に成長していきたい

山九マレーシアはこれまでも、私たちの期待にたくさん応えてくれているので、これからも変わらない関係を築いていきたいと考えています。彼ら是对等なマネジメントパートナーとして当事者意識をもって関与し、事前に設計上の誤りを指摘するなど、双方にとってより良い結果のために最適なソリューションを提供してくれます。初めてのプロジェクトも難しい挑戦でしたが、互いに協力することで新しいソリューションを見つけることができました。

また、今後はマレーシアだけでなく、インドネシアのプラントにもぜひ一緒に取り組んでほしいと思っています。インドネシアは人口が多く大きな国ですので、事業もどんどん拡大していく予定です。現在ある二つのプラントから、将来的にはもっと展開していきたいと考えています。

これからも持続可能な社会のために取り組むパートナーとしてともに歩んでいきたいと思っています。